

岡山市第六次総合計画 (前期中期計画)

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

桃太郎のまちづくりレポート 2018

目 次

- 成果指標の概要（中間評価） 1
- 平成30年度区別計画の進捗状況 5

令和2年3月

岡山市

岡山市第六次総合計画「前期中期計画」の成果指標の概要（中間評価）

82の指標のうち7割を超える指標が「上昇」し、そのうち10の指標が目標を達成。2の指標が「横ばい」、20の指標が「低下」している。政策分野別では、中心市街地、農林水産業、交通、教育、協働・ESD、健康、防災等に関する指標が上昇している一方で、平成30年7月豪雨の影響による観光や歴史・文化施設への来訪者数に関する指標等は低下が見られる。

前期中期計画（平成28年度～令和2年度）の取組状況を把握するため、成果指標の状況について中間評価を実施。

※平成28～30年度のうち、直近の調査年における実績値で評価。

《評価基準》
 「上昇」基準値に対し上昇 「低下」基準値に対し低下
 「横ばい」基準値に対し横ばい（変動率±0.5%の範囲内）
 「評価対象外」指標の調査周期に当たらず、実績値の把握ができない

将来都市像の区分	上昇		横ばい	低下	評価対象外	合計
		うち目標達成				
I 経済・交流都市	18	5	1	8	1	28
II 子育て・教育都市	18	1	1	6	0	25
III 健康福祉・環境都市	20	3	0	4	0	24
都市経営	3	1	0	2	0	5
計	59	10	2	20	1	82

上昇した主な指標

- 企業立地・再投資件数 8件 (H27) ➔ 46件 (H28-30)
- 中心市街地の歩行者通行量 3,925人 (H27) ➔ 4,324人 (H29)
 上段：平日 下段：休日 5,405人 (H27) ➔ 5,654人 (H29)
- 市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合 10.7% (H24) ➔ 22% (H29)
- 健康寿命 男性71.6歳・女性73.4歳 (H25) ➔ 男性71.6歳・女性74.3歳 (H28)

低下した主な指標

- 観光入込客数 7,577人(H27) ➔ 6,826人 (H30)
- 転入超過者数 883人（過去10年間(H17-26)の平均) ➔ -103人 (H30)
- 歴史文化ゾーン来訪者数 316万人(H27) ➔ 309万人 (H30)

岡山市第六次総合計画「前期中期計画」の成果指標の状況①（中間評価）

将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」						
政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績		目標値(R2)	状況
			年	値		
1 産業	①市内就業者数(人)	370,783(新) 362,044(旧) (H25)	H28	382,556	381,000(新) 374,000(旧) (H30)	上昇 (目標達成)
	②開業率(%)	5.5	H30	4.7	6.6	低下
	③企業立地・再投資件数(件)	8	H30	46 (H28-30)	75(新) 33(旧) (H28-R2)	上昇 (目標達成)
2 中心市街地	①快適で賑わいのある都心づくりの満足度(%)	20.4	H29	24.9	23 (R1)	上昇 (目標達成)
	②中心市街地の歩行者通行量(人) 上段:平日 下段:休日	3,925 5,405	H29	4,324 5,654	4,400 5,700 (R1)	上昇
	③JR岡山駅乗降客数(1日当たり)(万人)	13.2	H30	13.9	14.3	上昇
3 農林水産業	①新規就農者数(人)	27	H30	32	40	上昇
	②担い手への農地集積率(%)	25.3	H30	37.4	37.5	上昇
	③多面的機能制度取組面積(ha)	2,609	H30	3,311	7,025	上昇
	④岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合(%)	56.4	H29	60.5	65 (R1)	上昇
4 観光交流	①観光入込客数(千人)	7,577	H30	6,826	9,487	低下
	②コンベンション参加者数(人)	152,296	H30	171,495	207,000	上昇
	③転入超過者数(人)	883 ※過去10年間 (H17~26)の平均	H30	-103	1,000	低下
5 都市・周辺地域	①都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度(%)	30.8	H29	31.3	32 (R1)	上昇
	②人口集中地区(DID)人口密度(人/ha)	60	-	-	61	-

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績		目標値(R2)	状況
			年	値		
6 交通	①JR市内全駅乗車数(1日当たり)(万人)	10.9	H30	11.6	11.7	上昇
	②主要バス路線利用者数(1日当たり)(人)	31,500	H30	32,006	31,500	上昇 (目標達成)
	③生活交通導入地区数(試行運転開始地区を含む)(地区)	-	H30	1	4	上昇
	④自転車利用環境の整備に対する満足度(%)	15.5	H29	20.2	22 (R1)	上昇
	⑤主要渋滞箇所数(箇所)	42	H30	42	39	横ばい
7 景観・住環境	①美しい都市景観の形成に対する満足度(%)	26.7	H29	20.1	28 (R1)	低下
	②公園・緑地の整備や緑化の推進に対する満足度(%)	40.8	H29	25.2	44 (R1)	低下
	③住宅や住環境の整備に対する満足度(%)	18.4	H29	19.5	20 (R1)	上昇
8 歴史・文化	①歴史・文化ゾーン来訪者数(万人)	316	H30	309	336	低下
	②文化財施設・講演会等への来訪者数(人)	46,815	H30	46,572	47,300	低下
9 文化芸術	①過去1年間に文化芸術を体験(参加・鑑賞)した人の割合(%)	45.2	H29	62.4	60 (R1)	上昇 (目標達成)
	②文化活動の振興に対する満足度(%)	19.1	H29	19.7	25 (R1)	上昇
10 スポーツ	①成人の週1回以上のスポーツ実施率(%)	34.3	H29	31.0	47 (R1)	低下

岡山市第六次総合計画「前期中期計画」の成果指標の状況②（中間評価）

将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」						
政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績		目標値(R2)	状況
			年	値		
11 子育て	①子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度(%)	16.7	H29	13.9	30(R1)	低下
	②保育所等の待機児童数(人)	729(H28.4.1)	H30	353(H31.4.1)	0(R3.4.1)	上昇
	③放課後児童クラブ入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合(%)	87.7(H28.4.1)	H30	91.5(H31.4.1)	100(R3.4.1)	上昇
	④男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合(%)	82.4	H29	84.1	85(R1)	上昇
12 健全育成、自立	①心豊かな岡山っ子応援団賛助団員(団体)	11	H30	58	90(新)60(旧)	上昇
	②社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数(人)	-	H30	13(H28~30の合計)	25(H28~R2の合計)	上昇
	③里親等委託率(%)	13.3	H30	14	23	上昇
	④青少年の健全育成に対する満足度(%)	11.1	H29	9.8	20(R1)	低下
13 女性若者	①市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合(%)	10.7(H24)	H29	22.0	16(H29)	上昇(目標達成)
	②固定的な性別役割分担意識の解消度(%)	65.4	H29	68.1	73(R1)	上昇
	③若者(20歳代)の地域活動への参加割合(%)	17.9	H29	20.4	30(R1)	上昇
14 学校教育	①「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合(%)	小:85.8 中:83.5	H30	小:85.1 中:84.0	小:90 中:88	横ばい
	②全国学力・学習状況調査の偏差値	小6国語:50 小6算数:50 中3国語:48 中3数学:48	H30	小6国語:50 小6算数:50 中3国語:49 中3数学:49	小6国語:51 小6算数:51 中3国語:50 中3数学:50	上昇
14 学校教育	③「人が困っている時に進んで助けている」と答えた子どもの割合(%)	小:85.5 中:80.2	H30	小:87.0 中:83.5	小:92 中:90	上昇
	④1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合(%)	中2男子:91.9 中2女子:75.3	H30	中2男子:93.3 中2女子:76.4	中2男子:93 中2女子:79	上昇
15 教育環境	①「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合(%)	50.2(H28)	H30	51.5	60	上昇
	②全38中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数(中学校区)	30	H30	33	35	上昇
16 生涯学習	①市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数(冊/人)	6.3	H30	5.8	6.4	低下
	②公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数(人)	815,750	H30	780,265	816,000	低下
17 協働、ESD	①ESDプロジェクト参加団体数(団体)	246	H30	287	300(R1)	上昇
	②地域活動への参加割合(%)	39.9	H29	43.3	52(R1)	上昇
	③企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数(団体)	23	H30	34	50	上昇
18 国際	①国際交流・国際化について満足している市民の割合(%)	11.1	H29	9.4	13(R1)	低下
	②岡山市に住み続けたい外国人市民の割合(%)	83.1	H30	86	88	上昇
19 人権	①人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合(%)	45.9(H25)	H30	41.3	47(H30)	低下

岡山市第六次総合計画「前期中期計画」の成果指標の状況③（中間評価）

将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」						
政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績		目標値(R2)	状況
			年	値		
20 健康	①健康寿命(歳) 上段:男性 下段:女性	71.6 73.4 (H25)	H28	71.6 74.3	72.2 75.3 (R1)	上昇
	②生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数(人)	61		H30	443	
21 医療介護	①かかりつけ医がいる市民(60~80歳代)の割合(%)	63 (H24)	H28	62	70 (R1)	低下
	②生活・介護支援サポーター養成数(人)	822	H30	1,249	1,550	上昇
	③認知症サポーター数(人)	28,924	H30	46,204	58,000(新) 49,000(旧)	上昇
22 福祉	①障害者の福祉施設から一般就労への移行者数(人)	86	H30	152	152(新) 120(旧)	上昇 (目標達成)
	②就労支援を行った生活保護受給者数(人)	833	H30	804	860	低下
	③就労支援を行った生活困窮者数(人)	144	H30	192	205(新) 170(旧)	上昇
23 防災・減災	①下水道浸水重点対策整備率(%)	20	H30	43.3	53	上昇
	②住宅・建築物等の耐震化率(%) 上段:住宅 下段:避難路沿道建築物	83 87	H30	86 90	95 95	上昇
	③水道の基幹管路(口径400mm以上)の耐震適合率(%)	41.8		H30	45.8	
	④市中心部の下水道管きよの老朽化点検率(%)	30	H30	62	71	上昇
24 地域防災	①自主防災組織率(%)	62.4	H30	69.3	100(新) 75(旧)	上昇
	②住宅用火災警報器の設置率(%) 上段:設置率 下段:条例適合率	67.7 53.8	H30	77.5 67.4	85 70	上昇

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績		目標値(R2)	状況
			年	値		
25 市民生活	①安全・安心な地域社会と感じる市民の割合(%)	82.0	H29	87.2	88(新) 86(旧) (R1)	上昇
	②刑法犯認知件数(件)	7,186	H30	4,542	5,000(新) 5,500(旧)	上昇 (目標達成)
26 環境活動	①ホテルの生息地(地点)	200	H29	191	200 (R1)	低下
	②多様な主体による自然体験プログラム開催数(回)	420	H30	434	450	上昇
	③美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数(1主要通り当たりの1日平均)(個)	106	H30	113	100	低下
27 低炭素	①温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	6,476 (H25)	H30	6,214 (H28暫定)	6,000 (H30)	上昇
	②環境にやさしいライフスタイルの実践度(%)	46	H29	50	56 (R1)	上昇
28 循環型社会	①ごみの資源化率(%)	22.7	H30	27.6	28	上昇
	②市民1人1日当たりのごみ排出量(g)	837	H30	831	809	上昇
	③汚水処理人口普及率(%)	80.9	H30	83.7	85	上昇

都市経営

政策	指標名(単位)	基準値(H27)	実績		目標値(R2)	状況
			年	値		
生29 等創	①岡山市に住み続けたいと考える市民の割合(%)	79.2	H29	79.4	85 (R1)	上昇
	①実質公債費比率(%)	9.5	H30	6.3	9%台	上昇 (目標達成)
30 行財政運営	②行政窓口の充実に対する満足度(%)	18.7	H29	16.4	25 (R1)	低下
	③岡山市役所の管理職に占める女性の割合(%)	8.4 (H27.4.1)	H30	12.7 (H31.4.1)	14 (R3.4.1)	上昇
	④広報・広聴、情報公開、市民参加の推進に対する満足度(%)	13.1	H29	11.8	18 (R1)	低下

平成30年度区別計画の進捗状況（北区）

区づくりの将来目標

自然と共生し、歴史と文化が薫る 賑わいと交流のまち 北区

総括

方向性1 まちなかの魅力と賑わいの創出

7月豪雨や台風の影響で中止したイベントもあるが、西川緑道公園周辺でのイベント実施や、商店街の活性化事業への支援等により、まちなかの魅力アップやにぎわい創出につながっている。また、県庁通りについては、快適な歩行空間の確保に向け、関係機関と協議を重ねて道路の詳細設計を取りまとめるとともに、今後のまちづくりの方向性や取組の核となる人や団体の発掘・育成を目的に、県庁通りデザインミーティング等を開催して、地域や沿道事業者も一体となった魅力づくりを進めている。併行して、美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での広報・啓発活動を継続して実施しており、まちなかの美化を進めている。今後もまちなかの回遊性向上やにぎわいの創出をより一層推し進めるため、引き続き市民協働のもとでの取組を推進していく。

方向性2 農村部、中山間地域の活性化

就農相談や関係機関と連携した研修事業の実施、就農直後の経営に資する資金や設備投資に関する補助金の交付、地域の水路・農道等の維持管理に関する共同活動への支援、また、農用地の保全と生産性向上のための基盤整備等の実施により、農業者の確保等につながっている。農業従事者の高齢化、減少が進む中、今後も担い手の確保や育成、農業経営力の向上に向けた支援を実施していく必要がある。また、御津・建部地域・牧山地区に導入した地域おこし協力隊による取組が地域活性化に寄与しており、3年間の任期を満了した3人全てが引き続き御津・建部地域に居住し、そのうち1人に対して起業等補助金の交付を行った。今後も任期満了となった地域では、隊員の募集を行い、引き続き支援を継続していく。さらに、地域の課題解決に向け、コミュニティビジネスの視点から取り組む活動に対する支援として、地域の未来づくり推進事業に着手し、制度説明や個別相談などを行った。今後も引き続き地域住民等の地域の未来づくり計画作成に対し、必要な支援を行っていく。

方向性3 企業立地の推進

本市が持つ優れた交通網による拠点性の高さや災害リスクの低さ等を活かして、県と共同による空港南産業団地整備を行い、平成31年1月には公募を開始した。また、企業本社、中四国支店などの広域的営業拠点等の立地を進めた。若者を中心とした人材の首都圏等への流出を防ぎ市内への定着を図るため、広域的営業拠点など事務系職種の新たな雇用創出や、拠点強化を図る市内既存工場等の設備投資等への支援を引き続き進めていく。

方向性4 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信

「岡山芸術交流2019」の開催に向けた諸準備を進め、海外も含めた広報活動を行った。4月、5月の天候不良や7月の豪雨災害の影響等により岡山城と岡山後楽園の春期・夏期の入場者数は前年度を下回ったが、両施設の連携イベントやおかやま桃太郎まつり等の各種イベントを開催し、岡山の魅力を国内外に発信することにより、秋期以降は、両施設の入場者数は前年度並みに回復した。引き続き、岡山城・岡山後楽園への誘客促進を図る。また、岡山城の常設展示の充実やワークショップ、歴史講座などを行い、観光施設の魅力アップを図っている。さらに、各地域の埋もれた歴史資源を再認識し、市民や観光客が歴史・文化に触れる機会を増やす岡山歴史のまちしるべの設置事業においては、地域の団体からの提案等により北区では15基を設置し

た。今後も、岡山連携中枢都市圏の市町をはじめとする他都市との連携や、地域への愛着や誇りの醸成を図る取組を進めていく。

方向性5 まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上

自転車走行空間や駐輪場の整備を行い、自転車利用環境の向上に努めている。中心部と郊外部を接続するアクセス路線の整備を進めるほか、引き続き中心部においては駐輪場整備を進める必要がある。また、市内中心部と周辺地域をつなぐLRT基本計画の策定に向けて沿線住民と意見交換会を開催し、さらに公共交通の利用が不便な地域のうち、御津・建部コミュニティバスの利用を促進するため運行改善の検討を行った。足守生活バスは、試験運行で利用者が倍増したため令和元年度以降本格運行に移行する。牧山地区や馬屋上・野谷学区では地元組織とデマンド型乗合タクシーの導入に向けた検討を行い、住民の利用意向を調査した上で、引き続き、住民、事業者と一体となり、運行計画策定に取り組んでいく。

方向性6 持続可能で活力のある地域づくり

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業等を通じて区民の自主的・主体的な地域活動が行われている。また、地域の特性をいかした健康づくり活動などをおして持続可能な地域づくりを進めている。こうした活動を継続・促進していくため、担い手育成を推進しており、引き続き取り組んでいく。

方向性7 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり

地域における防犯・防災活動の担い手不足が課題となっている中、防災意識の高揚を図るための出前講座の継続的实施や、ハザードマップの配布、自主防災会組織率の増加に向けた支援事業の実施や地域防災リーダーの育成、地域防犯ボランティア団体への活動の支援などにより、地域の防災・防犯力の強化につながっている。足守地区では、旧福谷小学校で地域住民と防災訓練を行っており、今後も、地域との連携・協働のもとで地域防災・防犯力の底上げを図っていく。ハード対策においては、7月豪雨災害を踏まえ、今保ポンプ場基本設計に着手するなどの浸水対策、下水道施設の耐震化、長寿命化や、道路防災危険箇所の調査を引き続き進めている。今後も計画的なハード整備を実施していく。

区づくりの将来目標

ふれあいと活気にあふれ、快適で住む喜びに満ちたまち 中区

総括

方向性1 交通利便性の向上

都心部への交通アクセス性向上や区内の各地域間の円滑な移動確保のため、都市計画道路下中野平井線（中環状線）、主要地方道岡山赤穂線（外環状線）等の幹線道路の整備を進めるとともに、低床バスの導入補助を行い、バス利用環境の改善を図った。

岡山市総合交通計画を基に、鉄道やバスの利用環境改善など公共交通の利便性向上に向け、引き続き取組を進めていく。

また、自転車走行空間の整備については、自転車利用環境の改善に向け、中心部と郊外部を接続するアクセス路線の検討を行っている。

方向性2 豊かな自然環境の保全・継承

保護団体等と連携してアユモドキの保護・啓発活動を実施するとともに、生物多様性の保全活動を推進するため、「身近な生きものの里」として認定している高島・旭竜、曹源寺の2地域の住民主体の自然保護活動を支援した。

また、操山公園里山センターの講座等や公民館とのタイアップによる自然体験エコツアーの実施など、地域の生態系や自然環境を守り継承する取組は着実に進んでいる。

方向性3 地域資源の活用と発信

区づくり推進事業などを通じて、地域住民の創意工夫による各地区の特性を生かした地域づくりや、地域の歴史や特産物、文化の発信が進んでいる。

地域の埋もれた歴史資源を紹介する「岡山歴史のまちしるべ」設置事業により、新たに2基の案内看板を設置するなど、地域資源の活用と発信に向けた取組が広がっている。

方向性4 多世代の交流・協働による地域づくり

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業を通じて、区民の主体的な地域交流・自主的な地域活動を支援するとともに、地域活動への参加促進に向け、若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施するなど、コミュニティの活性化を着実に進めている。

また、山陽学園大学・短期大学に続き、区独自に就実大学・短期大学と締結した包括連携協定をもとに、今後一層、大学が有する高い専門性の地域振興への活用や、若年層の地域づくりへの参加促進に向け連携を図り、大学と協力して活力ある地域づくりを推進していく。

区独自事業として、大学との包括連携協定に基づき、大学の教員と学生による、高齢者等への健康・栄養指導相談を公民館等の地域拠点で実施し、学生の地域活動への参加や高齢者との交流を図ることができた。

方向性5 地域住民の手による防災・防犯力の向上

自主防災会に対する資機材給付や地域防災マップ作成への支援や、防災まちづくり学校等を開催しての地域防災リーダーの育成や出前講座の実施等により、住民の防災意識や地域の防災力の向上を図った。

一方、浸水対策として、倉安川の河川改修工事や用排水路の浚渫・改良工事等のハード事業を進めるととも

に、町内備蓄土や洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布を行った。

また、地域防犯についても、防犯ボランティアを対象に指導や講習等の支援を行うとともに、防犯灯を設置する町内会への費用助成を実施しており、地域住民の手による防災・防犯力の向上は着実に進んでいる。

区づくりの将来目標

いつまでも住み続けたい 歴史が息づき愛着の持てるまち 東区

総括

方向性1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり

昭和レトロな街並みが残り映画やテレビのロケ地としても注目を集める西大寺五福通りを舞台とした西大寺五福通りレトロ・マルシェや、まちの風物詩として定着した西大寺朝市などのイベント開催、市内唯一の海水浴場である宝伝・犬島海水浴場の支援を行い、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図った。

また、国指定重要無形民俗文化財である西大寺会陽のHPによる情報発信支援や多言語化支援、地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインのご案内看板「岡山市歴史のまちしるべ」を設置することで市民の郷土への愛着や誇りの醸成を図るとともに、地域資源の魅力を積極的に情報発信した。引き続き地域の声を反映し、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図る。

方向性2 多世代が交流・活動できる地域づくり

地域が主体となって独自の企画により行われた地域づくりの取組に対して支援を行い、地域の自治組織と学校や事業者の連携や、幼から老まで多世代の交流など、地域ぐるみの活動を促進することができた。さらに、地域活動を担う人材育成の面においても、特に若者向けに地域応援人づくり講座を実施するとともに、新たに地域おこし協力隊が千種学区に採用され地域で活動することとなった。また、地域の課題解決に向けコミュニティビジネスの視点で取り組む、多様な主体による活動に対する支援「地域の未来づくり推進事業」「中山間・周辺地域等稼ぐ力創出事業」の対象地区となり、制度説明のためのワークショップや、計画作りに向けた地域からの相談を通じて新たな取組の周知を行っている。今後もこれらの地域主体の取組が途切れることのないよう支援しながら新たな担い手の確保・育成を図っていく。

方向性3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興

優位性をいかした企業誘致を図るため、瀬戸インターチェンジ周辺等の農地の利用について、国への政策提言・要望を行った。

持続可能な農業の振興を図るため、農業の担い手確保・育成に努めるとともに、経営力の強化を目的とした事業を行うことにより、引き続き「儲かる農業」の実現に向けて取り組んでいく。

方向性4 交通利便性の向上

美作岡山道路の瀬戸IC～熊山IC間において暫定供用したのをはじめ、主要地方道岡山赤穂線における鉄道交差部の工事や、主要地方道西大寺山陽線における道路改良工事・用地買収を進めるなど、各路線の整備に取り組んだ。

また、交通不便地域における日常生活に必要な移動手段の確保について、千種小学校区と角山小学校区において地元検討組織とデマンド型乗合タクシーの試験運行に向けた検討を進めている。この取り組みについては、区民の関心が高まっており、地域が主体となって移動手段確保に取り組む意向があるときには、その地域の住民と一緒に検討を行っていく。

方向性5 健やかに暮らせる地域づくり

地域の特性に応じたきめ細やかな健康づくりを進めるため、健康市民おかやま21推進会議の活動の充実を

図るとともに、中学校区又は小学校区単位での組織づくりを進め、活動の活性化を図っている。

また、「ええとこ発見図（ウォーキングマップ）」を活用したウォーキング大会の開催や、おかやま西大寺マラソンなどのイベントの場も活用しながら、「OKAYAMA！市民体操」の普及、実施を継続している。これらの取組を通じ、今後も地域特性に応じた健康づくりの取組が充実するよう支援をしていく。

方向性6 安全・安心な地域づくり

平成30年7月豪雨による砂川破堤を受け、破堤箇所の早期復旧や再度災害の防止の対策推進について、国・県等に対し緊急要望を行った。さらに、東区の災害の歴史や地域防災活動の重要性についてのシンポジウムを開催し、地域の防災意識の向上に努めた。引き続き、防災資機材の給付など、自主防災会の結成や活動の促進、地域の防災力の強化を図るとともに、町内会等へ真砂土及び土のう袋の配布等の浸水対策にも取り組んだ。

また、区内での安全・安心ネットワークの活動の支援、防犯指導及び講座を行った。さらに、地域の要望に基づく通学路防犯灯の設置や、町内会が防犯灯を設置する際の補助を継続して行った。

区民の防災意識及び安全・安心なまちづくりに対する意識の向上に努め、今後も区民の主体的な活動を促進していく。

区づくりの将来目標

人・まち・自然が調和し、笑顔輝く実りのふるさと 南区

総括

方向性1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実

県による笹ヶ瀬川、足守川、倉敷川の河川改修事業、市による芹川支川の河川改修や小串港排水機場の整備、泉田、築港新町地区ほかの下水道雨水管渠整備等、ハード面での浸水対策を推進した。ソフト面では、市民の雨水貯留タンク設置への助成を4件、事業者向け雨水流出抑制施設設置への助成を1件実施したほか、浸水対策への意識啓発を図る目的で、福島小学校、芳明小学校に雨水貯留タンクを設置した。また、出前講座等で市民の防災意識向上を図るとともに、浸水被害防止のために用水路の藻刈等を行った。

さらに、地域で防災訓練を行う際の参考として、防災訓練メニューや訓練実施時の注意点等を記載した「防災訓練ハンドブック」を作成し、町内会等に配布したほか、地域防災に関する相談に応じたり、アドバイスを行う「防災専門家派遣事業」を実施した。地域の防災力を高めるため、今後とも市民協働により防災対策に取り組んでいく。

方向性2 活力のある農業の振興

国、県や土地改良区等と連携して、老朽化した水路の補修を着実に推進するとともに、建設から長年経過した千両街道の整備を行うなど、農業用施設の長寿命化を引き続き進めていく。鳥獣害対策については、防護柵等の補助及び猟友会への駆除依頼などにより一定の効果をあげており、引き続き実施していく。

方向性3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化

地域行事等に使用する備品の修繕・代替に対して支援することにより、地域住民の交流を促し、コミュニティの維持発展を図った。

地域住民が主体となった地域づくりに対しては、区づくり推進事業を通じて支援を行っており、子どもからお年寄りまで参加できるイベントをはじめ、地元で採れた野菜のコンテストやお米をテーマにした祭りなど、地域資源の魅力を発信する多彩なイベントが行われ、地域内外の住民同士の触れ合いと絆づくりにつながった。

方向性4 地域の魅力の発掘・発信

区づくり推進事業を紹介するポスターを作成し、区内各地域に周知するとともに、区づくり推進事業、地域の伝統行事等のSNSによる発信や、地域の歴史・文化の由来等を顕す看板「岡山歴史のまちしるべ」を妹尾戸川家陣屋跡など4基設置する等により、南区ならではの魅力を区内外に向けて発信した。

方向性5 交通の利便性の向上

主要な幹線道路である市道藤田浦安南町線（外環状線）と主要地方道岡山児島線については、引き続き着実に事業を進めていく。

迫川地区乗合タクシーについては、地元と連携し、料金設定の見直しや運行範囲の拡大など、利用促進や運行改善を図り、平成30年度から本格運行を開始した。今後、迫川地区以外の公共交通の利用が不便な地域における日常生活に必要な移動手段確保についても、地域とともに検討していく必要がある。

方向性6 健やかに暮らせる地域づくり

ふれあいセンターや公民館を拠点として、ウォーキング大会や健康教室等、市民との協働による日常的な運動習慣の推進などの健康づくりに取り組んだ。また、福田緑道の工事が完了し、広く市民の体力づくりや健康増進、憩いの場として活用されている。今後も、地域における自主的な健康づくりに向けた環境整備に取り組んでいく。